

## CEFR-J (日本語版)

	レベル	PreA1	A1.1	A1.2	A1.3	A2.1	A2.2	B1.1	B1.2	B2.1	B2.2	C1	C2
理	聞くこと	ゆっくりはっきりと話されれば、日常の身近な単語を聞きとることができる。	当人に向かって、ゆっくりはっきりと話されれば、「立て」「座れ」「止まれ」といった短い簡単な指示を理解することができる。	趣味やスポーツ、部活動などの身近なトピックに関する短い話を、ゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。	ゆっくりはっきりと話されれば、自分自身や自分の家族・学校・地域などの身の回りの事柄に関連した句や表現を理解することができる。	ゆっくりはっきりと放送されれば、公共の乗り物や駅や空港の短い簡潔なアナウンスを理解することができる。	スポーツ・料理などの一連の行動を、ゆっくりはっきりと指示されれば、指示通りに行動することができる。	外国の行事や習慣などに関する説明の概要を、ゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。	自然な速さの録音や放送(天気予報や空港のアナウンスなど)を聞いて、自分に関心のある、具体的な情報の大部分を聞き取ることができる。	自然な速さの標準的な英語で話されていれば、テレビ番組や映画の母語話者同士の会話の要点を理解できる。	非母語話者への配慮としての言語的な調整がなされていないときでも、長い話を理解できる。	構成が明瞭ではなく、事柄の関係性が暗示されているだけで明示的になっていないときでも、長い話を理解できる。また、特別に努力しなくてもテレビ番組や映画を理解することができる。	生であれ、放送されたものであれ、母語話者の速いスピードの発話でも、話し方の癖に慣れる時間の余裕があれば、どんな種類の話し言葉も難無く理解することができる。
		英語の文字が発音されるのを聞いて、どの文字かわかる。	日常生活に必要な重要な情報(数字、品物の値段、日付、曜日など)を、ゆっくりはっきりと話されれば、聞きとることができる。	日常生活の身近なトピックについての話を、ゆっくりはっきりと話されれば、場所や時間等の具体的な情報を聞きとることができる。	(買い物や外食などで)簡単な用をたすのに必要な指示や説明を、ゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。	学校の宿題、旅行の日程などの明確で具体的な事実を、はっきりとなじみのある発音で指示されれば、要点を理解することができる。	視覚補助のある作業(料理、工作など)の指示を、ゆっくりはっきりと話されれば、聞いて理解することができる。	自分の周りで話されている少し長めの議論でも、はっきりとなじみのある発音であれば、その要点を理解することができる。	はっきりとなじみのある発音で話されれば、身近なトピックの短いラジオニュースなどを聞いて、要点を理解することができる。	トピックが身近である発音の英語で話される議論の流れを理解することができる。	自然な速さで標準的な発音の英語で話されていれば、現代社会や専門分野のトピックについて、話者の意図を理解することができる。		
解	読むこと	口頭活動で既に慣れ親しんだ絵本の単語を見つけることができる。	「駐車禁止」、「飲食禁止」等の日常生活で使われる非常に短い簡単な指示を読み、理解することができる。	簡単なポスターや招待状等の日常生活で使われる非常に短い簡単な文章を読み、理解することができる。	簡単な語を用いて書かれた、スポーツ・音楽・旅行など個人的な興味のあるトピックに関する文章を、イラストや写真も参考にしながら理解することができる。	簡単な語を用いて書かれた人物描写、場所の説明、日常生活や文化の紹介などの、説明文を理解することができる。	簡単な英語で表現されている旅行ガイドブック、レシピなど実用的・具体的な内容が予想できるものから必要な情報を探することができる。	学習を目的として書かれた新聞や雑誌の記事の要点を理解することができる。	インターネットや参考図書などを調べて、文章の構成を意識しながら、学業や仕事に関係ある情報を手に入れることができる。必要であれば時に辞書を用いて、図表と関連づけながら理解することができる。	現代の問題など一般的な関心の高いトピックを扱った文章を、辞書を使わずに読み、複数の視点の相違点や共通点を比較しながら読むことができる。	記事やレポートなどのやや複雑な文章を一読し、文章の重要度を判断することができる。綿密な読みが必要と判断した場合は、読む速さを調整し、読み方を変えて、正確に読むことができる。	長い複雑な事実に基づくテキストや文学テキストを、文体の違いを認識しながら理解できる。自分の関連外の分野での専門的記事や長い技術的説明書も理解できる。	抽象的で、構造的にも言語的にも複雑な文章、例えばマニュアル・専門的記事・文学作品のテキストなど、事実上あらゆる形式で書かれた英文を容易に読むことができる。
		ブロック体で書かれた大文字・小文字がわかる。	ファーストフード・レストランの、絵や写真がついたメニューを理解し、選ぶことができる。	身近な人からの携帯メールなどによる、旅の思い出などが書かれた非常に短い簡単な近況報告を理解することができる。	簡単な語を用いて書かれた短い物語や伝記などを理解することができる。	生活、趣味、スポーツなど、日常的なトピックを扱った文章の要点を理解したり、必要な情報を取り出したりすることができる。	ゲームのやり方、申込書の記入のしかた、ものの組み立て方など、簡潔に書かれた手順を理解することができる。	平易な英語で書かれた長めの物語の筋を理解することができる。	難しい部分を読み返すことができれば、自分の専門分野の報告書・仕様書・操作マニュアルなどを、詳細に理解することができる。	自分の専門分野の論文や資料から、辞書を使わずに、必要な情報や論点を読み取ることができる。			

## CEFR-J (日本語版)

	レベル	PreA1	A1.1	A1.2	A1.3	A2.1	A2.2	B1.1	B1.2	B2.1	B2.2	C1	C2
話す	やりとり	基礎的な語句を使って、「助けて!」や「～が欲しい!」などの自分の要求を伝えることができる。また、必要があれば、欲しいものを指さしながら自分の意思を伝えることができる。	なじみのある定型表現を使って、時間・日にち・場所について質問したり、質問に答えたりすることができる。	基本的な語や言い回しを使って日常のやりとり(何ができかねないかや色にか)で話されれば、簡単な質問に答えたりすることができる。	趣味、部活動などのなじみのあるトピックに関して、はっきりと話されれば、簡単な質問に答えたりすることができる。	順序を表す表現であるfirst, then, nextなどのつなぎ言葉や「右に曲がって」や「まっすぐ行って」などの基本的な表現を使って、単純な道案内をすることができる。	簡単な英語で、意見や気持ちをやりとりしたり、賛成や反対などの自分の意見を伝えたり、物や人を比較べたりすることができる。	身近なトピック(学校・趣味・将来の希望)について、簡単な英語を幅広く使って意見を表明し、情報を交換することができる。	病院や市役所といった場所において、詳細にまた自信を持って、問題を説明することができる。関連する詳細な情報を提供して、その結果として正しい処置を受けることができる。	ある程度なじみのあるトピックならば、新聞・インターネットで読んだり、テレビで見たニュースの要点について議論することができる。	一般的な分野から、文化、学術などの、専門的な分野まで、幅広いトピックの会話に積極的に参加し、自分の考えを正確かつ流暢に表現することができる。	言葉をことさら探さずに流暢に自然に自己表現ができる。社会上、仕事上の目的に合った言葉遣いが、意のままに効果的にできる。自分の考えや意見を正確に表現でき、自分の発言を他の話し手の発言にうまくあわせることができる。	いかなる会話や議論でも無理なくこなすことができ、慣用表現、口語表現をよく知っている。自分を流暢に表現し、細かい意味のニュアンスを正確に伝えることができる。表現上の困難に出会っても、周りの人に気づかれぬように修正し、うまく繕うことができる。
		一般的な定型の日常の挨拶や季節の挨拶をしたり、そうした挨拶に応答したりすることができる。	家族、日課、趣味などの個人的なトピックについて、(必ずしも正確ではないが)なじみのある表現や基礎的な文を使って、質問したり、質問に答えたりすることができる。	スポーツや食べ物などの好き嫌いなどのともなじみのあるトピックに関して、はっきり話されれば、限られたレパートリーを使って、簡単な意見交換をすることができる。	基本的な語や言い回しを使って、人を誘ったり、誘いを受けるたり、断ったりすることができる。	補助となる絵やものを用いて、基本的な情報を伝え、また、簡単な意見交換をすることができる。	予測できる日常の状況(郵便局・駅・店など)ならば、さまざまな語や表現を用いてやり取りができる。	個人的に関心のある具体的なトピックについて、簡単な英語を多様に用いて、社交的な会話を続けることができる。	駅や店などの一般的な場所、間違った切符の購入などといったサービスに関する誤りなどの問題を、自信を持って詳しく説明することができる。相手が協力的であれば、丁寧に依頼したり、お礼を言ったり、正しいものやサービスを依頼することができる。	母語話者同士の議論に加われないこともあるが、自分が学んだトピックや自分の興味や経験の範囲内のトピックなら、抽象的なトピックであっても、議論できる。	幅広い慣用表現を使って、雑誌記事に対して意見を交換することができる。		
発表	こと	簡単な語や基礎的な句を用いて、自分についてのごく限られた情報(名前、年齢など)を伝えることができる。	基礎的な語句、定型表現を用いて、限られた個人情報(家族や趣味など)を伝えることができる。	前もって発話することを留意した上で、限られた身近なトピックについて、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、簡単な意見を言うことができる。	前もって発話することを留意した上で、限られた身近なトピックについて、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、複数の文で意見を言うことができる。	一連の簡単な語句や文を使って、自分の趣味や特技に接触しながら自己紹介をすることができる。	写真や絵、地図などの視覚的補助を利用しながら、一連の簡単な語句や文を使って、自分の毎日の生活に直接関連のあるトピック(自分のこと、学校のこと、地域のことなど)について、短いスピーチをすることができる。	使える語句や表現を繋いで、自分の経験や夢、希望を順序だてて、話を広げながら、ある程度詳しく話ることができる。	短い読み物か短い新聞記事であれば、ある程度の流暢さをもって、自分の感想や考えを加えながら、あらすじや要点を順序だてて伝えることができる。	ある視点に賛成または反対の理由や代替案などをあげて、事前に用意されたプレゼンテーションを聴衆の前で流暢に行うことができ、一連の質問にもある程度流暢に対応ができる。	要点とそれに関連する詳細の両方に焦点を当てながら、流暢にプレゼンテーションができ、また、あらかじめ用意されたテキストから自然にはなれて、聴衆が興味のある点に対応してプレゼンテーションの内容を調整し、そこでもかなり流暢に容易に表現できる。	複雑なトピックを、派生的問題にも立ち入って、詳しく論ずることができる。効果的な論理構成によって聞き手に、適切な結論でまとめ上げることができる。	状況にあった文体で、はっきりと流暢に記述・論述ができる。効果的な論理構成によって聞き手に、重要な点を把握させ、記憶にとどめさせることができる。
		前もって話すことを留意した上で、基礎的な語句、定型表現を用いて、人前で実物などを見せながらその物を説明することができる。	基礎的な語句、定型表現を用いて、簡単な情報(時間や日時、場所など)を伝えることができる。	前もって発話することを留意した上で、日常生活の物事を、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、簡単に描写することができる。	前もって発話することを留意した上で、日常生活に関する簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、複数の文で描写することができる。	写真や絵、地図などの視覚的補助を利用しながら、一連の簡単な語句や文を使って、身近なトピック(学校や地域など)について短い話をすることができる。	一連の簡単な語句や文を使って、意見や行動計画を、理由を挙げて短く述べるることができる。	自分の考えを事前に準備して、メモの助けがあれば、聞き手を混乱させないよう、馴染みのあるトピックや自分に関心のある事柄について話ることができる。	自分の関心事であれば、社会の状況(ただし自分の関心事)について、自分の意見を加えてある程度すらすらと発表し、聴衆から質問できれば相手に理解できるように答えることができる。	ディベートなどで、そのトピックが関心のある分野のものであるならば、論拠を並べ自分の主張を明確に述べることができる。	ディベートなどで、社会問題や時事問題に関して、補助的観点や関連事例を詳細に加えながら、自分の視点を明確に展開することができる。話を続けることができる。		

## CEFR-J (日本語版)

	レベル	PreA1	A1.1	A1.2	A1.3	A2.1	A2.2	B1.1	B1.2	B2.1	B2.2	C1	C2
書くこと		アルファベットの大文字・小文字、単語のつづりをブロック体で書くことができる。	住所・氏名・職業などの項目がある表を埋めることができる。	簡単な語や基礎的な表現を用いて、身近なこと(好き嫌い、家族、学校生活など)について短い文章を書くことができる。	自分の経験について、辞書を用いて、短い文章を書くことができる。	日常的・個人的な内容であれば、招待状、私的な手紙、メモ、メッセージなどを簡単な英語で書くことができる。	身の回りの出来事や趣味、場所、仕事などについて、個人的経験や自分に直接必要のある領域での事柄であれば、簡単な描写ができる。	自分に直接関わりのある環境(学校、職場、地域など)での出来事を、身近な状況で使われる語彙・文法を用いて、ある程度まとまりのあるかたちで、描写することができる。	新聞記事や映画などについて、専門的でない語彙や複雑でない文法構造を用いて、自分の意見を含めて、あらすじをまとめたり、基本的な内容を報告したりすることができる。	自分の専門分野であれば、メールやファックス、ビジネス・レターなどのビジネス文書を、感情の度合いをある程度含めた適切な文体で、書くことができる。	自分の専門分野や関心のある事柄であれば、複雑な内容を含む報告書や論文などを、原因や結果、仮定的な状況も考慮しつつ、明瞭かつ詳細な文章で書くことができる。	いくつかの視点を示して、明瞭な構成で、かなり詳細に自己表現ができる。自分が重要だと思う点を強調しながら、手紙やエッセイ、レポートで複雑な主題について書くことができる。読者を念頭に置いて適切な文体を選択できる。	明瞭で流暢な文章を適切な文体で書くことができる。効果的な論理構造で事情を説明し、その重要点を読み手に気づかせ、記憶にとどめさせるよう、複雑な手紙、レポート、記事を書くことができる。仕事や文学作品の概要や評論を書くことができる。
		単語のつづりを1文字ずつ発音されれば、聞いてそのとおり書くことができる。また書いてあるものを写すことができる。	自分について基本的な情報(名前、住所、家族など)を辞書を使えば短い句または文で書くことができる。	簡単な語や基礎的な表現を用いて、メッセージカード(誕生日カードなど)や身近な事柄についての短いメモなどを書く。	趣味や好き嫌いについて複数の文を用いて、簡単な語や基礎的な表現を使って書くことができる。	文と文を and, but, because などの簡単な接続詞でつなげるような書き方であれば、基礎的・具体的な語彙、簡単な句や文を使った簡単な英語で、日記や写真、事物の説明文などのまとまりのある文章を書くことができる。	聞いたり読んだりした内容(生活や文化の紹介などの説明や物語)であれば、基礎的な日常生活語彙や表現を用いて、感想や意見を短く書くことができる。	身近な状況で使われる語彙・文法を用いれば、筋道を立てて、作業の手順などを示す説明文を書くことができる。	物事の順序に従って、旅行記や自分史、身近なエピソードなどの物語文を、いくつかのパラグラフで書くことができる。また、近況を詳しく伝える個人的な手紙を書くことができる。	そのトピックについて何か自分が知っていれば、多くの情報源から統合して情報や議論を整理しながら、それに対する自分の考えの根拠を示しつつ、ある程度の結束性のあるエッセイやレポートなどを、幅広い語彙や複雑な文構造をある程度使って、書くことができる。	感情や体験の微妙なニュアンスを表現するのだけならば、重要点や補足事項の詳細を適切に強調しながら、筋道だった議論を展開しつつ、明瞭で結束性の高いエッセイやレポートなどを、幅広い語彙や複雑な文構造を用いて、書くことができる。		